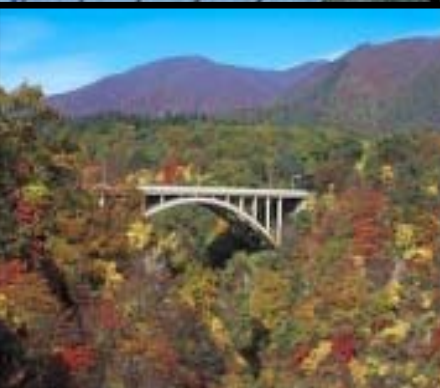


鳴子ダム水源地域ビジョン
第3回策定委員会資料

平成17年5月31日（火）

資料 - 6 第2回策定委員会の概要



鳴子ダム水源地域ビジョン第2回策定委員会の概要

1. 第2回策定委員会の概要

(1) 日 時:平成17年3月23日(水)14:30～17:00

(2) 場 所:鳴子ホテル5階コンベンションホール宮城野

(3) 参加者:21名(7名欠席)

第2回策定委員会の経過と様子は次のとおりです。

開会后、事務局より、第1回策定委員会後の経過報告(かわら版の発行やアンケート調査の実施など)があり、第1回策定委員会の意見に基づいた、鳴子ダム水源地域ビジョンの方向性について説明を行い、これに基づいた議論が行われました。

なお、第3回策定委員会は、5月下旬に行う予定です。

2. 議事の概要(各委員の発言の要旨)

委員のみなさまからご発言いただいたご意見を、水源地域のありようなど、項目別に整理すると、以下のとおりです。

[水源地域のありよう]

鳴子町への来訪者ばかりでなく、水源地域内外の大人から子どもまで楽しめるような仕組みづくりが必要
水源地域が主体で、地域の人々が前向きに活動して地域をつくりあげていく
廃校となる鬼首中学校を地域、教育、産業などをキーワードとする情報発信の場につなげる

[地産地消で地域を活性化]

地域の農産物(根菜類、蕎麦など)を地域内で流通し地産地消につなげ、水源地域の活性化につなげる。
地域の食材を学校の給食に提供し、子ども達に地域食材のよさを継承していく
地産地消で地域が活性化するうえでは、生産者の能力に見合った対応も必要

[誰に楽しんでもらうか]

地域内外の人、年齢層、趣向などに対応するプランづくりが必要(釣り、山菜採り、水遊びなどファミリー層がみんなで楽しめるようなもの)

[PR活動が大事]

鳴子町には、さまざまな資源や特色ある活動が行われているが、あまり知られていないようで、戦略的にPRしていく必要がある

地域活動のPRについては継続的に情報発信を行い、情報が水源地域全体に定着するPR手法が必要
地域の人々が地域のセールスマンになるような意識づくりで取り組むことが必要

[何をPRしていく]

水源地域に降り積もった一握りの雪が川に流れダムに貯まる、そのような「水の循環」なども、実際に訪れて体感してもらう

水源地域のもつ資源を「森林セラピー(医療療法)」などで活用し、自然の役割や機能を体感してもらう

江合川上流でのブナの苗木の植林など地域環境の保全活動

鳴子町内の温泉街の回遊性(湯めぐり手形など)、観光協会が取り組んでいる温泉療養プランなど、鳴子ならではの特色をもった活動をPRしていき、地域の元気につなげていく

[横の連携も密に交流]

地域間交流は合併後の「大崎市」が主体となるので、近隣地域へのPRが必要

合併後も、地域のよさを継承していくことが必要

情報発信では交流できない。人と人のうごきがあつての交流なので、そのための魅力づけをしていくことが必要

地域活動団体の連携を図り、一元的に推進してはどうか

情報を共有するための定期的な活動や、町のコンシェルジュ(案内人)として、観光をはじめとする情報を提供していくことが必要

ビジョンを推進していく組織作りが必要

[活動の拠点づくり]

荒雄湖畔公園を活用して、現在の運動機能や休養機能に、産直販売や情報発信などの機能を充実して拠点化してはどうか

[アクセスの改善]

湖西道路などインフラ整備が必要だが、鳴子町や鬼首地区に来やすいアクセス確保・提供が必要

[ダムの役割・ダムの活用]

ダムへの来訪の機会が薄れており、総合学習のため、児童用のパンフレットやビデオなどの教材を作成し、PRしてはどうか。

スローライフ週間冬編に続き、鳴子ダムを拠点とした「夏編」の活動を計画しており、四季を通して活動するようなメニューづくりが必要

鳴子ダム 水源地域ビジョン 国土交通省 東北地方整備局 鳴子ダム管理所



水源地域ビジョンとは

従来、ダムは、治水、利水等、主に下流地域の国土保全、国民生活の安定、産業経済の発展のために供されてきました。
21世紀においては、これらのダムの効果に加えて、ダム及び水源地域の豊かな自然、文化等を活用した地域の振興、及び、バランスのとれた流域の発展を図ることにより、21世紀のランドデザインの一部として機能することが期待されます。
このため、国土交通省では、直轄ダム、水源開発等公団ダムについて、地域ごとに、ダム水源地域の自治体等と共同で、ダムを法かした水源地域の自立的・持続的な活性化を図るための「水源地域ビジョン」を策定することとしました。

鳴子まちづくりかわら版

鳴子ダムでは、水源地域ビジョンを身近に感じていただくために、随時、かわら版を発行することと、いたしました。最新のニュースを発信いたします。



- 第2回 策定委員会資料
- [資料-1 経緯報告及び方向性について](#)
 - [資料-2 「産業活性化」「交通と連携」](#)
 - [資料-3 第1回策定委員会の概要](#)

第2回 策定委員会当日の様子
[第2回 策定委員会について](#)

- 第1回 策定委員会資料
- [資料-1 策定委員会委員名簿](#)
 - [資料-2 設立趣意書](#)
 - [資料-3 策定委員会規約](#)
 - [資料-4 協議規定](#)
 - [資料-5 水源地域ビジョンについて](#)
 - [資料-6 進め方について](#)
 - [資料-7 現状について](#)
 - [資料-8 策定スケジュール](#)
- [第1回 策定委員会について](#)

[鳴子ダム管理所TOPへ](#)

ご意見はこちらにお願、します
nanku@tr.mlit.go.jp

新着情報

鳴子まちづくりニュース(No.3)を発行しました。05/03/29
鳴子ダム水源地域ビジョン策定委員会(第2回)が行われました。(05/03/23)
鳴子まちづくりニュース(No.2)を発行しました。05/02/21
鳴子まちづくりニュース(No.1)を発行しました。05/02/17
鳴子ダム水源地域ビジョン策定委員会(第1回)が行われました。(05/01/26)

鳴子ダム水源地域ビジョン策定委員会事務局
国土交通省東北地方整備局鳴子ダム管理所
〒989-6806
宮城県玉造郡鳴子町字岩瀬2-8
TEL 0229-82-2341 FAX 0229-83-3855

鳴子まちづくりかわら版(鳴子ダム水源地域ビジョンニュース)



鳴子ダム水源地域ビジョン策定委員会(第2回)を開催

平成17年3月21日(水)、「鳴子マウル」で「鳴子ダム水源地域ビジョン策定委員会(第2回)」が開催されました。

○第2回策定委員会の概要
 (1)日 時: 平成17年3月23日(木) 14:30~17:00
 (2)場 所: 鳴子マウル5階コンベンションホール(宮城県野宮)
 (3)参加者: 21名(7名来賓)

第2回策定委員会の経済と福祉は次のとおりです。関係者、事務局より、第1回策定委員会の経過報告(かみわら版の発行やアンケート調査の実施など)があり、第1回策定委員会の決定に基づいた「鳴子ダム水源地域ビジョンの方向性」について説明を行い、これに基づいた議論が行われました。

定日は、鳴子ダム、常盤湖公園、中根地区、日入地区、十ニコウベスキー場などを初年度に定めました。

なお、第3回策定委員会は、5月下旬に行う予定です。

※ 第2回策定委員会の様子

委員のみなきまからいただいた意見の概要

第1回策定委員会での意見をもとに「ビジョンの方針」を上記のように策定委員会に提出し、4つのテーマ(元気、学習、文化、守る)を提議していただくには、活動の場所がなければ、4つの中核は、独立した活動が必要とありました。

【水源地域のありよう】
 ○鳴子町への参加を促すだけでなく、水源地域内外の人から子どもも参加出来るような仕組みづくりが必要
 ○水源地域が主体で、地域の人自身が主体として活動する体制づくりが必要
 ○水源地域になる教育や研修施設、教育、産業などをキーワードとする情報発信の場をつくる

【水源地域で地域を活性化】
 ○地域の農産物(産物、畜産など)を地域内の流通と消費者に近づけ、水源地域の活性化につなげる
 ○地域の食料を早期に消費に結びつけ、子どもにも食糧食料のよさを体験していく
 ○水源地域で地域を活性化するときでは、生産者の能力を定めた必要

【学んで楽しむ】
 ○地域内外の人、年齢層、性別などに対応するプログラム(体験型、知識型、水源地域など)を準備する必要がある

【PR活動が大事】
 ○鳴子町には、さまざまな団体が存在しているが、活動が行われているか、あるいは行っていないか、積極的にPRしていく必要がある
 ○地域活動のPRについては積極的に情報発信を行い、情報がいずれ地域に定着するPR手法が必要
 ○地域の人が地域のサービスマンになるような意識づくりを取り組むことが必要

【職の連携も重要に交流を】
 ○地域間交流は自治体の「連携」が主体となるので、政府機構へのPRが必要
 ○自治体も、地域のよさを発信していることが必要
 ○情報発信は重要ではない、人々のうち2人があつての活動なので、そのための協力が必要
 ○地域活動の場を確保し、より広く活用していく必要がある

【更に楽しんでもらうか】
 ○地域内外の人、年齢層、性別などに対応するプログラム(体験型、知識型、水源地域など)を準備する必要がある

ビジョンの方針

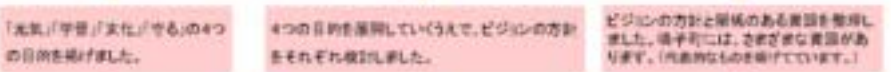
策定委員会の意見を基盤とし、まちづくりを推進していくための目標として、「元気」「学習」「文化」「守る」の4つのテーマを掲げ、これを達成していくための方針を整理して活動方針(本紙に掲載)とした。(ホームページでも公開いたしました)

ビジョンの目的

- 地域を元気にする**
 - 観光資源の活用、地域活性化、地域経済の発展、雇用創出、関係者の参画、まちづくりの推進
- 地域を学習する**
 - 地域内外の交流、知識の習得、学習の場の確保、市民参加の促進、まちづくりの推進
- 地域の文化を育てる**
 - 地域の文化の継承、学習の場の確保、市民参加の促進、まちづくりの推進
- 地域の環境を守る**
 - 自然環境の保全、学習の場の確保、市民参加の促進、まちづくりの推進

鳴子のまちづくり(鳴子ダム水源地域ビジョン)にご意見を寄せ下さい!

「鳴子ダム水源地域ビジョンの方向性」は、ビジョンの目的、観光や地域の資源との関係を描きつけて、以下のような方針をまとめた。「観光資源などは、代表的なものですが、こういうものもある」「もっとこうすれば」といった「ご意見」や「アイデア」などもあると思います。方針は「キーワード」としてまとめたものですが、鳴子町や亘理川流域の方々と、一緒にプランづくりを進めていきたいと思います。(ホームページで詳しくご覧いただけます。)



ビジョンの目的	ビジョンの方針	既存資源など
地域を元気にする	地域づくりによる地域の活性化	公共施設や公民館等のイベント
	業おこしによる地域の活性化	やまが海の産物でさびっくらぶ
	地域の施設を活用する(鬼首中学校等)	鳴子マウルニバル、鬼首神社祭典等
	地域の環境を活用する(高根湖公園)	集まれ鳴子ダム湖側公園の冬季利用
地域を学習する	地域の水辺を活用する(江合川上流)	キャッチ&リリース、賞魚園(ダム)
	地域をよく知り地域力を高める	滝首神社江合川源流の碑
	ダムと自然・農業の役割を認識する	鳴子ダムダムの見学
地域の文化を育てる	鳴子町特有の温泉資源を活用する	現代教養入門、温泉療養プラン
	地域の食文化の創出	そば打ち体験、鳴子美食倶楽部
	ダムを共有の資源ととらえPRする	すだれ敷、日本人初のアーチ式ダム
地域の環境を守る	水力や地熱発電などの環境を活用する	完全地熱発電所、鳴子発電所、風車
	豊かな自然環境の保全と森林資源の活用	白生山、花崗山の「ゆづり」地形
	農村環境や農村の景観を守る	滝首地区の貯留集落、高根町町教会

ご意見をお寄せいただく際には・・・

【お寄せいただきたいご意見とは…】
 <鳴子ダム水源地域ビジョンに対するご意見とは>
 ○水源地域の鳴子町のみならず、鳴子ダム流域に上川水(亘理川)に広がる大城地区のみならず「元気」になるご意見や「アイデア」を募集いたします。
 <鳴子ダム水源地域が元気になるご意見やアイデアとは>
 ○地域づくり、人づくりがビジョンの基盤として最も大切なものと考えています。このため、地域と地域の結びつきや人との結びつきを重視しながら、まちづくりに関する意見やアイデアを募集します。
 ○特に、自然や文化、観光や農業、地域や歴史など、鳴子ダム水源地域が持つ豊かさを活かすことができるような、様々なご意見、アイデアをご提供いただき、鳴子ダム水源地域を元気にしていただきたいと思います。
 <ご意見のいただき期間>
 ○鳴子ダム水源地域ビジョン策定期間であり平成17年9月までとします。
 ○なお、ご意見を届ける方法としては下記に示すような方法の中から選ばれるものでご遠慮ください。

【ご意見・アイデアをお寄せいただく際のお願い…】
 ○ご意見等は以下のいずれかでお寄せください
 ご意見・アイデアとあわせて、ご住所、ご年齢、性別、電話番号等もご記入ください。
 ①インターネットを通じてのご意見・アイデアをご提供いただく場合
 - 鳴子ダム管理所のホームページ
 URL: <http://www.nari-dam.go.jp>
 ②電子メールを通じてのご意見・アイデアをご提供いただく場合
 - 鳴子ダム管理所のEメール: info@nari-dam.go.jp
 ③FAXを通じてのご意見・アイデアをご提供いただく場合
 - 鳴子ダム管理所のFAX: 0225-431-3955
 ④封書・はがきを通じてのご意見・アイデアをご提供いただく場合
 - 鳴子ダム管理所の住所
 〒997-6834 宮城県亘理郡鳴子町加茂9
 なお、皆様から寄せられたご意見・アイデアについては、全て、事務局にとりまわすため、委員会にご提案させていただきませんが、全てが「ビジョンづくりに取り入れられない場合」もご承知ください。

今後のスケジュール



鳴子まちづくりかわら版(鳴子ダム水源地域ビジョンニュース)配布先(1)

1. 鳴子町全戸(約3,300世帯)
2. 江合川鳴子ダム放流通報連絡会(35団体)
 - 宮城県古川産業振興事務所
 - 宮城県古川土木事務所
 - 宮城県大崎地方ダム総合事務所
 - 古川市交通防災課、鳴子町総務課、岩出山町総務課
 - 小牛田町総務課、田尻町総務課、涌谷町総務課
 - 河南町総務課、鳴子町教育委員会
 - 大崎地域広域行政事務組合 消防本部
 - 石巻地区広域行政事務組合 消防本部
 - 大崎地域広域行政事務組合 鳴子消防署
 - 大崎地域広域行政事務組合 古川消防署
 - 大崎地域広域行政事務組合 涌谷消防署
 - 石巻地区広域行政事務組合 矢本消防署
 - 宮城県鳴子警察署
 - 宮城県古川警察署
 - 宮城県小牛田警察署
 - 宮城県涌谷警察署
 - 宮城県石巻警察署
 - 東日本旅客鉄道(株)仙台支店小牛田保線区
 - 桃生町総務課
 - 三本木町総務課
 - 松山町総務課
 - 鹿島台町総務課
 - 鳴瀬町総務課
 - 南郷町住民課
 - 松島町環境防災班
 - 東北電力(株)古川技術センター
 - 北上下流河川事務所
 - 北上下流河川事務所 大崎出張所
 - 北上下流河川事務所 涌谷出張所
3. 地域活動団体(江合川流域市町)(85団体)
 - 特定非営利活動法人ひたかみ水の里
 - 特定非営利活動法人オープンハート・あったか
 - 特定非営利活動法人蕪栗ぬまっこくらぶ
 - 特定非営利活動法人がんばれネット
 - 特定非営利活動法人宮城まちづくり協議会
 - 特定非営利活動法人地域文化研究所小牛田セミナー
 - 特定非営利活動法人いしのまきNPOセンター
 - 特定非営利活動法人地域文化創成社爽風白露
 - 特定非営利活動法人ひよっこりひょうたん田代島
 - 特定非営利活動法人パートナーシップ古川
 - 特定非営利活動法人石巻スポーツ振興サポートセンター
 - 特定非営利活動法人北上川・水の輝き
 - 特定非営利活動法人TERAKOYA
 - 大崎コミュニティカレッジ
 - 大崎風土耕舎
 - 音楽ボランティアグループ「やさい畑」
 - 子育て支援 ふるかわおひさまの会
 - 子どもの明日を考える会
 - (社)古川青年会議所
 - 煎茶道清泉幽茗流清泉会古川支部
 - 西古川共栄会
 - P・A技術者協議会
 - 古川生き活きまちづくり21委員会
 - 古川子ども劇場
 - 古川市国際交流協会
 - 古川市地域婦人団体連絡協議会
 - 古川市リサイクルデザイン工房友の会
 - 古川の街づくりをすすめる女性の会
 - ふるかわ平和のつどい
 - ボタン・クラブ

鳴子まちづくりかわら版(鳴子ダム水源地域ビジョンニュース)配布先(2)

保柳神楽保存会
岩出山町菊花愛好会
岩出山町ボランティアガイドの会
ボランティアグループ「スコール」
有備会
カムロ企画
縄文音楽集団「鬼」
鳴子町石の梅まちづくり創造研究会 鳴子・楽郷の会
東鳴子ゆめ会議
あるグループ
写真クラブ涌谷フォート
涌谷町健康推進員協議会
涌谷町に桜の木を増す会
国際田園研究所
田尻郷土研究会
田尻町グリーンツーリズム委員会
塩土老翁グループ
小牛田混声合唱団
小牛田町バイテク研究会
小牛田町無名会
小牛田和太鼓江鳴会
創作和太鼓駒の会
遠田地区更生保護婦人連絡協議会
特定非営利活動法人みやぎボクシングクラブ
21石会
石巻駅前親交会婦人部
石巻日高見太鼓
渡波水曜会
渡波生活学校
劇団「夢回帰船」
(社団)石巻青年会議所

石巻市町内会連合会婦人部会
石巻市地域婦人団体連絡協議会
湊をみんなで考える会
石巻圏まちづくりデザイン会議
母なる北上川を愛する女性の会
ひたかみ水の里
みやぎヒューマンライフ石巻ブロック会
河南鹿嶋ばやし保存会
和渚青年商工会
河南町農業研究団体連絡協議会
河南町まちづくりの会みずすまし
桃生町文化協会
桃生町婦人団体連絡協議会
d. ARTS
いしのまきNPOセンター
石巻千石船の会
石巻若宮丸漂流民の会
明るい社会づくり運動石巻地区推進協議会
朗読ボランティアグループまいまい
LITTLEWAVEF
ケア・サポートぬくもり
NPOスマートシニアいしのまき
まんぼう画会
水と緑の環境フォーラム・ものう